

**問** 本市の害獣駆除は、近隣市に比較し大きな成果が上がっている。これは地域猟友会の協力と緊急雇用創出事業による支援策が功を奏したと考えるが、その具体的な事業内容について聞きたい。

**産業観光部長** イノシシ等の害獣駆除を行った場合、その捕獲個体の処分作業が発生する。これらの廃棄作業を猟友会へ業務委託し、専門作業員を雇用して個体の回収、運搬、廃棄作業を行っている。

**市立中学校女子生徒の制服のデザインを統一する考え方を問う！**



柳 収 一 郎  
議 員

**問** 制服は各学校の校則で決められるべきものである。各学校は、特色ある学校づくりや独自性を持った学校運営を目指しており、市長のトップダウンでなく、いろいろな意見を聞いて判断すべきではないか。

**市長** 過去の経緯を踏まえ、女子の制服がこのままでよいのかという問題意識を持って、学校やPTAの方々に問いかけをしている段階である。

**問** 市民スポーツフェスティバルは平成24年度をもって終了と聞けるが、子供から大人まで楽しく参加できる催しであり、継続することにより、市民ひとりスポーツの推進につながると思うが、再考できないか。

**教育次長** さまざまなスポーツのイベントがある中で、選択と集中の視点により、平成24年度で区切りをつける方向で検討している。



▲第32回足利市民スポーツフェスティバル

**実用的な子どもの権利条例制定を！**



金子 裕 美  
議 員

**問** あしかがこどもの笑顔プランに、こどもの権利条例の制定を掲げているが、その内容と進捗状況を聞きたい。また、先進市のように、こども会議や第三者による相談機関を設置してはどうか。

**市長** 平成26年度までの条例制定を目指し、庁内検討会議等を立ち上げ具体的に検討していく。また、よりよい条例にするため、広く市民の意見を求めていきたい。

**問** 生活保護費は年々増加し、平成23年度では約23億円である。そのうち医療扶助費が約11億6千万円と約半分を占めている。制度の

見直しを検討されている中、医師会や薬剤師会と連携・協力することにより、本市独自で医療扶助費の削減が図れないか。

**福祉部長** 後発医薬品の使用促進や、お薬手帳の活用について周知し、嘱託医と協議しながら受給者へ適切な受診を指導することで、医療扶助費の適正化に努めていきたい。



**新学校給食共同調理場整備を問う！**



渡 辺 悟  
議 員

**問** 既存の民間調理場については、設備等償却費を考慮した委託費となっている。この点を考えれば、公設に近い取り扱いが可能と思うが、今後どのように扱っていくのか。

**教育次長** 民間調理場は公設と違い、施設の所有権が民間にある。また、県費でなく市費の栄養士配置となるため市の負担増となる。今後ともこれまでと同様に役割を担っていた

**問** 現状のまま新調理場に移行しても随意契約が続く形になる。公平性の観点から、入札による民間活力の導入等が適切ではないか。

**柳 収 一 郎 議員**

- 「残業ゼロ」の推進による相乗効果について
- ・女性の社会進出を促進する環境づくり
- ・市職員の時間外勤務の実態

**金子 裕 美 議員**

- 教育行政について
- ・新教育長の教育方針
- ・市立中学校の女子生徒の制服
- ・文化・スポーツ事業
- 選挙執行について
- ・選挙啓発と投票率の向上
- 農業行政について
- ・耕作放棄地の指導

**渡 辺 悟 議員**

- こどもの権利条例について
- ・こどもの権利条例の制定
- 足利市立中学校生徒の就労に係る死亡事故について
- ・第三者調査委員会の設置
- 福祉行政について
- ・生活保護の医療扶助
- ・健康増進政策
- 人事制度について
- ・青年海外協力隊現職参加の推進
- 市長の政治姿勢について
- ・知事選の結果
- ・県との関係
- ・国との関係
- 新学校給食共同調理場について
- ・公募型プロポーザル方式による事業者の選定
- ・給食数の推移
- ・既存の民間調理場の規模
- ・委託業者との契約

**教育次長**

学校給食については、安定的な供給体制確保のため、市内業者2社に委託する分散方式として、新調理場については、業務実績が良好で給食業務を熟知する足利市学校給食協同組合に委託するもので、新調理場に移行する上でのリスクが少なく、随意契約は適切と考える。



**市長の政治姿勢を問う！**



横山 育男 議員

**問**

知事選や衆議院選のような本市にとって非常に大切な選挙において、中立の立場をとり何の行動もとらないで、国・県との良好な関係を構築できるのか。

**市長**

市政を進めるに当たって、国・県との関係は大変重要であると認識している。今後も機会あるごとに連携を図り、協力をいただきながら、共に足利市のために、まい進していく所存である。

**問**

学校体育施設夜間開放について、平成24年度から電気使用料相当分を有料化したが、健全な年少女の体力づくりのために、再検討し無料化できないか。

**教育次長**

施設の維持管理等を勘案し、時代に即したあり方を検討し

た結果、受益者負担の原則に基づき有料化した。少年等の利用については、1/2負担とし活動を支援している。



**春日市営住宅の空き地活用案と今後の市営住宅のあり方を問う！**



小林 貴浩 議員

**問**

本市の賃貸住宅の空き家率は高くなっており、現状を考えれば、建て替えではなく既存の民間住宅を活用した借り上げ市営住宅という方法も考えられるのではないか。

**都市建設部長**

一般財源を必要としない市での建設運営の方が、民間住宅借り上げよりも経費的には有利と考える。しかし、民間活力の導入や民間ノウハウの活用もひとつの手法と思われるので、国の補助制度の動向に注視しつつ研究していきたい。

**問**

人口減少に歯止めをかけ、定住人口を増やすため、現在放置されている春日市営住宅の空き地を優良宅地として売却した場合、固定

**資産税収入はどの程度になるのか。**

土地建物を含めた分譲宅地用地として、年間900万円程度になると想定される。



▲春日市営住宅(山下町)

**都市建設部長**

**国保税滞納者の健康状態の把握を！**



尾関 栄子 議員

**問**

国保税を滞納し、資格証の交付を受けていた方が、お金がなくて病院に行けず病気で亡くなった。こうしたことが二度と起こらないよう、保健師の訪問等により、滞納者の健康状態を把握すべきではないか。

**生活環境部長**

資格証交付後、一定期間が経過した人を抽出して、保健センターでの健康相談に関する案内を通知し、相談があれば電話や保健師の訪問による健康相談を行うことを検討したいと考えている。

**横山 育男 議員**

○市長の政治姿勢について  
・私人としての政治スタンスと、公人としての選挙への関わり方  
○諸般における副市長としての考え方について  
・副市長としての市長・職員への役回りと考え方  
・諸事業を行う上での考え方、進め方及び議会への対応  
○足利赤十字病院跡地への対応について  
・足利赤十字病院跡地に対する関与及び考え方  
○学校体育施設夜間開放について  
・学校体育施設夜間開放の有料化見直し

**小林 貴浩 議員**

○市営住宅について  
・春日市営住宅のあり方  
・市営住宅の今後のあり方  
○学校給食について  
・民間委託  
・新学校給食共同調理場  
**尾関 栄子 議員**  
○地方自治法に定められた自治体の責務について  
・健康であるための施策の充実  
○地域経済の活性化について  
・地元業者優先の施策  
○子どもにやさしいまちづくりについて  
・少子化対策  
○議案第89号 一般会計補正予算(第4号)について  
○議案第90号 足利市保育所条例の改正について